

大学生の学生生活の質に影響する日常の体験様式に関する研究：「体験過程を尊重する態度」に着目して

福盛, 英明

<https://hdl.handle.net/2324/1866369>

出版情報：九州大学, 2017, 博士 (心理学), 論文博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開 (2)

氏名	福盛 英明			
論文名	大学生の学生生活の質に影響する日常の体験様式に関する研究 —「体験過程を尊重する態度」に着目して—			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	吉良安之
	副査	九州大学	教授	黒木俊秀
	副査	九州大学	教授	増田健太郎
	副査	九州大学	准教授	金子周平

論文審査の結果の要旨

本論文は、大学生の日常における「体験過程を尊重する態度」と学生生活の質との関連について、数量的研究と質的研究、計15の研究によって検討したものである。「体験過程尊重尺度」および「学生生活チェックカタログ45」という2種の質問紙を独自に開発したうえで、この2種の質問紙を用いた詳細な研究により、体験過程を尊重する態度の中でも「体験過程を受容し行動する態度」が学生生活の質と大きく関連していることを明らかにするとともに、「体験過程を尊重する態度」の3因子が「学生生活チェックカタログ45」の諸因子にどのように影響を与えているかについて適合度の高いモデルを見出している。また、「体験過程を尊重する態度」の4つのタイプを抽出するとともに複数の学生相談事例の検討からその変化可能性を明らかにしている。さらに、これらの知見にもとづいて大学生の「体験過程を尊重する態度」を促進するアプローチを提示している。本研究は、臨床心理学の立場から学生生活の質を高めるうえで体験過程を尊重する態度を促進することの重要性を示すとともに、その具体的アプローチを提示しており、学生生活の質の向上を図るうえで大きな貢献をなすうる研究として高く評価される。以上のことから、本論文は博士（心理学）の学位に十分に値するものと認める。